

森からのお手紙

9号
2022

Topics

森のこよみ

お客様物語 高橋たみ子さん

お一人おひとりの人生が異なるように、お墓の選び方も実にさまざま。

その想いや考えを、お届けします。

お客様物語

第9回

今回のお客様 高橋たみ子さん



『50年後の森をめざす』という理念にこれだ!と思った」と話すのは、千葉県東金市にお住まいの高橋たみ子さん。昨年5月に樹種はヤマボウシで個別墓をご契約されました。森の墓苑を知ったきっかけは、地域の情報誌の紹介記事だそうです。

もともと温暖化など地球環境の問題に関心があった高橋さんは、環境活動家のグレタ・トゥーンベリさんの「今すぐに温暖化対策をしないと地球の未来はない」「何もしないのは、未来を生きる子どもたちへの裏切りだ」という言葉に共感していました。2019年には台風15号による千葉県内の甚大な

被害を目の当たりにし、地球温暖化の問題はまったなしだということをして「体感」。そして2020年3月に70歳で定年退職をして、漠然とお墓のことと考えていたころ、情報誌の記事で「50年後の森をめざす」という森の墓苑の理念を知り、地球温暖化防止のために何かしたいという想いとお墓の問題がつながりました。

理念に共感し、姪御さんと見学会に参加、場所や樹種まで検討したもの、いざ「自分のお墓」として向き合った時には戸惑いを感じたそうです。それから、植樹草会などに数回足を運び、一年かけて決めました。契約後は終の住処が決まったような安心感が生まれたと同時に「これまで生きてきた人生が、私に何を期待しているのか…。これからどういう風に生きていくか、その軸が決まった気がする」と話します。

「私は独身で子どもがいないので、次の世代に何を伝えられるかと考えた時、やりたいことが三つあります。一つは地球温暖化防止などの環境への貢献、二つ目は開発途上国の女子

への教育支援、三つ目は地域文化財の保存です。これらは放っておくとみんな失われてしまうものなんですよね」

高橋さんにとって森の墓苑は環境への貢献という、生き方の軸の一つとなりました。

「お墓ってなんとなく暗いイメージだと思うんですけど、こは鳥や虫、お花などに囲まれて明るい雰囲気です。自然の中で、自分のお墓と友達になって、お墓も育っていく、という感覚です。森の墓苑を選んだことにとても満足しています」

今後もしイベントがあれば参加したいという高橋さん。森の墓苑との付き合いは、始まったばかりです。



森の墓苑
自然のなかに眠り森を育てる

(公財)日本生態系協会 森の墓苑東京事務所
東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル
電話 0120-901-580 (9:00 ~ 18:00) HP www.morinoboen.org

森からのお手紙 9号 2022 発行:(公財)日本生態系協会

◆見学やお墓参りについて◆ 平日にご来苑の際は、スタッフ不在の場合がありますので、前日までにご連絡ください。開苑時間10～16時。スマートフォンアプリ「LINE」のビデオ通話を使用した現地見学も承ります。

◆出張説明◆ ご自宅や団体・企業での説明会も承りますので、ご依頼ください。

長南ホタル観察会

きれいな水辺を長年、地元の方々が維持管理し自然を守ってきた山内地区で、今年も、観察会を実施しました。ホタルは木立や田んぼ、川辺に沿って飛び交い、やさしい黄緑色の光に、参加者の方々に楽しんでいただきました。



合葬墓 野の花販売開始

4月より新たな合葬墓・野の花（たんぽぽ、すみれ）の販売をしています。この区画は樹木ではなく、在来種のタンポポやスミレを植え、時間をかけて地域在来の草花を育てます。
この合葬墓はベツトは受けておりません



植樹草会 2022

今年も森と草はらづくりに、多くのみなさまにご参加いただきました。自然観察のあとは、50年後の森の姿を想い、幸運を呼ぶと言われるタマムシが集まる木、エノキをはじめ、地域で自生する木々の苗木や、野草の植付けをおこないました。



ちばSDGsパートナー

千葉県から「ちばSDGsパートナー」へ登録されました。このSDGsは世界のさまざまな問題を解決し、より良い暮らしができるように定められた国際的な目標です。これからも県内の各団体と連携し、活動をすすめていきます。



◆8月1日(月)より月曜日が定休日となります。お電話は定休日でも問い合わせていただけます。

*月曜日が祝祭日の場合は開苑

◆お盆8月11日(木)～16日(火)、お彼岸9月20日(火)～26(月)は、毎日開苑いたします。



木々を濡らしていた雨は上がり、さわやかな陽が差し込むと、ウグイスやカワラヒワが美しい鳴き声を聞かせてくれました。若草色の葉はすすくと、うららかな青葉へ、草はらは豊かな緑に包まれます。

